

中島宏さん 重要無形文化財保持者（人間国宝） 認定おめでとうございます。



中島宏 Profile

- 昭和16年 西川登町弓野に生まれる
- 昭和44年 弓野古窯跡に築窯し独立
- 昭和44年 第16回日本伝統工芸展 初入選
- 昭和52年 (社) 日本工芸会正会員
- 昭和52年 第24回日本伝統工芸展 日本工芸会奨励賞
- 昭和56年 第1回西日本陶芸展 総理大臣賞
- 昭和58年 日本陶磁協会賞
- 平成2年 佐賀県重要無形文化財「陶芸青磁」保持者
- 平成8年 第9回MOA岡田茂吉賞 工芸部門大賞
- 平成8年 藤原啓記念賞受賞
- 平成14年 (社) 日本工芸会理事
- 平成16年 (社) 日本工芸会西部支部幹事長
- 平成17年 第52回日本伝統工芸展 NHK会長賞
- 平成18年 日本陶磁協会賞 金賞
- 平成19年 重要無形文化財保持者（人間国宝）

中島さんは、昭和16年現在の西川登町弓野に生まれ昭和33年父の工房に入り作陶を始め、同44年弓野の古窯跡に築窯して独立されました。この頃より、青磁を中心とする技法・表現上の研究を重ねて、技の錬磨に努め、伝統的な青磁の技法を高度に体得されました。

また、中国各地の古窯跡を踏査するなどして宋時代の官窯青磁の研究を深めるとともに、胎土や施釉、焼

成等について創意工夫を加え、独自の青磁を創出し中島青磁を確立されました。その現代感覚に即した創作への取り組みは、素地に線彫文を施した壺や鉢等の多様な器形と釉色によって重厚で存在感のある青磁の世界を創り出し、高い評価を受け平成17年の第52回日本伝統工芸展でNHK会長賞（優秀賞）を受賞した「青瓷線彫文平鉢」は、中島さんの青磁技法の到達度の高

さを示す優れた作品です。平成17年から翌年にかけては、東京と福岡で「中島宏展 いま現代を生きる青磁」が開催されました。平成8年に第9回MOA岡田茂吉賞工芸部門大賞を受賞し、同18年には日本陶磁協会賞金賞を受賞されています。

また、平成14年から（社）日本工芸会理事、さらに、同16年同会西部支部幹事長に就任して、後進の指導・育成にも尽力されています。

人間国宝

中島宏さんに聞く

聞き手 武雄市長 樋渡啓祐

——今回の「人間国宝（重要無形文化財保持者）」の認定、まことにおめでとございます。中島先生といえは「青磁」ですが、先生が青磁を極めようとなさったきっかけは？

この近くには、武雄、有田、伊万里、波佐見など古い窯跡がたくさんあるので、20代の頃、仕事の合間に窯跡や陶片を捨てた物原などをたずね、作陶の参考に陶

片を探していました。古唐津や古伊万里の陶片がたくさんある中に、時々ブルーや緑に光る青磁を発見しました。その際立った美しさに惹かれて、「こういうものを作りたい！」と思いき、父に相談しました。しかし、返ってきたことばは「青磁はむずかしいし、商売にならない」。

今思えば、青磁をやるには高度な知識と技術が必要

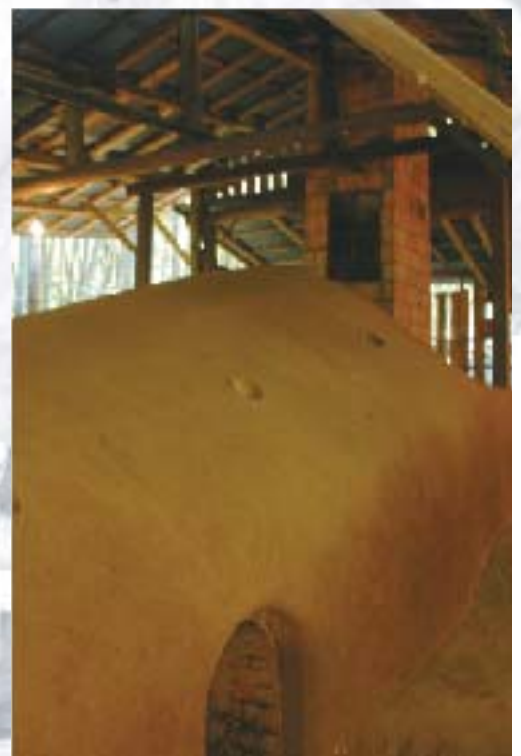
なので親父は心配して言うてくれたのだろうと思うのですが、その時は言われれば言われるほど、「それだつたらやってみよう」と怖いもの見たさで青磁の世界に飛び込みました。

——先生の作品は「中島青磁」「中島ブルー」といわれていますが、それは先生の個性から生まれてきたものですか、それとも風土によるものですか？

僕は両方だと思っんです。まず、中国・朝鮮の青磁の写しをやりました。しばらく写しをやっていくと写しでは満足できなくなるわけです。

「何か独自のものはできないか、自分の個性を出せるものがつくれないか？」という思いが湧いてくるんです。そんな時、窯の中に今までにない色を発見しました。

それから、この偶然を自分のものにしてようと研究しました。偶然を必然に、これがやきもののキーポイントですよ。この偶然はチ



ヨイチョイあるんですが、感性がないと気づかないし、おもしろいと思わない。

そうこうする内に賞をもらうようになったのですが、しばらくして「何でこんな色になったのかな」と客観的に考えていたら武雄の自然、武雄の風土色といったものに行き着きました。

——風土色とはどんなものを言うんですでしょうか？

青磁は無色なんですけど、青磁の層が厚くなると色がついてくるのを僕は風土色と言っています。山とか川、空気を含めてそこならではの色や土があるんです。「所

変われば、品変わる」と言うでしょう。

青磁というと中国の青磁の色に近づけよう近づけようとしていたわけですが、その土地の土の特質を出していけばいいと思うようになったのです。「国宝とか中国青磁にこだわる必要はない。日本の豊かな自然が生んだその土地の土を大切にしていけばいい。」と思うようになったんです。

陶芸というのはご存知のように土に火を通してつくるんですが、一旦火を通してしまつたと元の土には戻らないんです。地球ができて46億年という長い時間をか

